

【学校教育目標：自他を思い、自律できる八幡小の子どもを育てる】



観音竹



学校便り 令和 6年 2月号
令和6年 2月 1日 発行
八幡幼稚園・八幡小学校
園長・校長 芝 隆 志

<http://eshachiman.synapse-blog.jp/hachimanes/> (↑QRコード 八幡小ブログ)

自分の可能性へ挑戦 ～まず、ちょっとやってみる～

みなさんも、元日に今年の目標を立てたのではないのでしょうか。私も、「ダイエット(健康)のために、毎日、ウォーキングをする。」と目標を立てました。が、・・・「毎日」なんてことを目標にしたため、すでに挫折・失敗・残念なことに、続きませんでした。目標の修正をして、「学校がある日は」ウォーキングをする。」としました。その結果、年末年始で2kg増えた体重は、あと1kgまでとなりました。**無理なく、続ける(ちょっとやってみる)と自分に自信もてる**ようになるものです。小学生だと3ヶ月(学期)、大学生ぐらいだと6ヶ月(前期・後期)、大人だと、1年間続けると習慣化され自分のものになると聞きます。誰か導いてくれるコーチがいたら、頑張ることもできるかなあと、弱さが出てきます。結局は、自分自身の心。自分との戦い。勝負の相手は自分自身。自分を律する力(自律)があるかないか。

子どもたちとなるとどうでしょうか。子どもたちの目標を応援、コーチングしていくのは、親であり、周りの大人(学校の先生、少年団の指導者、地域の大人・・・)

元メジャーリーガーのイチローさんが話した内容を下に記しましたが、これは、高校生を相手に話した内容です。今の時代では、いわゆる昭和的な「厳しい大人(上司、先生、指導者)」は希少でしょう。当然のことですが、学校の先生が、たたいたり大声で叱ったり(恐怖を感じさせる)してもいけません。こういう時代です。

学校も、一斉指導から「個別最適な学び」が求められています。学校には、集団が苦手な子ども、コミュニケーションが苦手な子ども、感覚に過敏がありみんなと一緒に活動することが難しい子どもなどに、「その子にとって何が(どうすることが)一番良いか。」を考え、「今は、〇〇していこう。」と、担任の先生を中心に指導・支援をしています。ちょっとずつ、様子を見ながら。**焦らず、続けて。**

しかし、学校だけで子どもを自律させていくことはできません。家庭(保護者)・地域社会とみんなと一緒に子どもたちを育てていかなければなりません。そのような中、八幡の子どもたちは、集落の行事や運動会、少年団活動などで、青年団・地域の方との結びつきが強く、多くのことを先輩から教え引き継いでいっています。合同運動会の時、中高生・青年団のみなさんが**毎年運営を手伝っている姿はまさに、八幡の底力**だと思います。私もたくさんの学校・地域を見てきました。八幡は、自慢できる地域です。地域と共に子どもたちを全力で胸を張って堂々とサポートしていきましょう。

私たち大人は、これからの**社会を生き抜く力(自分を律する力)**を子どもたちにつけていかないといけません。みんなで考えたいものです。**子どもたちが10年、20年後、その子なりに輝いていられるように。**

イチロー 高校球児を特別指導(北海道旭川東高校)

「あ然・・・本気のイチロー高校球児指導でまさかのガラス割り！news23 2023年11月6日放送より

3分14秒～3分54秒(40秒) イチローの言葉を文字におこしました。

→ YouTube

「指導者がね、監督、コーチ、どこ行ってもそうなんだけど、厳しくできないって。厳しくできないんですよ。時代がそうなっちゃっているから。導いてくれる人がいないと、楽な方に行くでしょ。自分に甘えが出て 結局、苦勞するのは自分。厳しくできる人間 と 自分に甘い人間 どんどん差が出てくるよ。できるだけ自分を律して厳しくする。」



<避難訓練(地震)>

1月19日(金)に「地震」の避難訓練を行いました。地震はいつ起きるか分からないことから、子どもたちには地震発生時刻を伝えず、休み時間に発生した場合を想定して実施しました。「訓練放送です、訓練放送です。地震が起きました。机の下にもぐりましょう。」の放送が流れた後、近くの先生と他学年の子どもと一緒に、体育館へ避難しました。みんな緊張感をもって、自分たちで判断し避難することができました。南分遣所の方から、体育館に避難した際にも気を付けなければならないことを具体的に教えていただくことができました。



<表彰ラッシュⅡ>

1月の全校朝会で行った表彰をご紹介します。

① 令和5年度第3回屋久島町スポーツ少年団

競技別交換大会サッカー競技

第1位(Aパート) 神山サッカースポーツ少年団

任田 元太 大門 迪 竹本 真央 玉置 逞人

池田 航星 尾崎 玲欧 半澤 龍伸

半澤 琉衣 半澤 朗衣

第2位(Cパート) 神山サッカースポーツ少年団

西 眞秀 尾崎 玖利主

② 第5回かごしま弁マンガ・イラストコンテスト

会長賞 6年 高橋 和

③ 屋久島世界自然遺産登録30周年記念

令和5年度屋久島レクリエーションの森

保護管理協議会小中学生作文展

奨励賞 6年 小笹 花生

④ 南日本新聞12月若い目賞 学校賞 八幡小学校

※ 3,000円分の図書券をいただきましたので、学校の図書室に入れる本を購入する予定です。



<鹿児島学習定着度調査・標準学力検査(CRT)の実施>

1月16日(火)から17日(水)は、県内の全ての5年生を対象に「鹿児島学習定着度調査」が一斉に実施されました。この調査は、「知っている・知らない」や「理解している・していない」といったものだけではなく、多くの資料から分かることを読み取って説明したり、自分が主張したい趣旨に沿った資料を選択したりする「活用する力」や「表現する力」が身に付いているのかを調べるのが目的の1つになっています。一問一答の問題とは異なり、長い文章を読んだ上で、多くのグラフや文章から必要な部分を見つけ出すことが必要です。途中で読むのをあきらめたり、「分からない」と判断し、空白の回答にしたりしてしまいがちになりますが、八幡小の5年生は、無回答はなく、全員最後まであきらめずにやり遂げました。本を読むことが好きな子どもたちだからこそではないかと思えます。今年度の5年生の通過率は以下の通りです。

国語 63.6% (県: 68.4% 地区 73.6% 町 72.2%) 社会 65.2% (県: 65.4% 地区 72.2% 町 65.4%)

算数 68.1% (県: 74.7% 地区 79.8% 町 76.8%) 理科 70.0% (県: 75.5% 地区 81.1% 町 78.2%)

また、2学期末は、全児童対象に4月から学習してきた内容を習得しているかどうかの標準学力検査(CRT)を行いました。各教科における理解が十分でない内容を見付け、学習し直すための検査です。結果をもとに、しっかりと復習して進級してくれたらいいなと思えます。

【お知らせとお願い】

※ 「学校協力券」へのご協力ありがとうございました。今年は8,620円の換金となりました。子どもたちのために、有意義に使わせていただきます。

※ 八幡小保健生活部で作った廃油石鹸を販売しています。

豆腐1パック分で100円です。泥汚れ、油汚れが大変よく落ちます。ご希望の方は学校までご連絡ください。お待ちしております。(47-2202)

【2月の主な行事予定】

1日(木) 学校保健安全委員会 PTA 専門部会 家庭教育学級閉級式

8日(木) 新1年生1日体験入学

21日(水) PTA 理事会

28日(水) 全校朝会